

15 レオナルド 描き直し拒否の理由

《岩窟の聖母》に関わる謎

2019

真鍋友範

ロンドン版《岩窟の聖母》に関して、ロンドン・ナショナル・ミュージアムのレオナルドの真筆裁定に同意できる。何故なら、ロンドン版は第一次ロンドン版《岩窟の聖母》がレオナルド自身によって描かれていると考えられるからだ。

それにしても、【なぜ、レオナルドはこの作品の描き直しを頑強に拒否したのか。】

~~~~~

その理由を知るため、少し歴史をふりかえろう。

まだフィレンツェにいた頃のレオナルドは、《マギの礼拝》を依頼され、作品はキャンバスへの下書き迄進んでいた。この作品は1481年サン・ドナート・ア・スコペート修道院から依頼された祭壇画であったという。

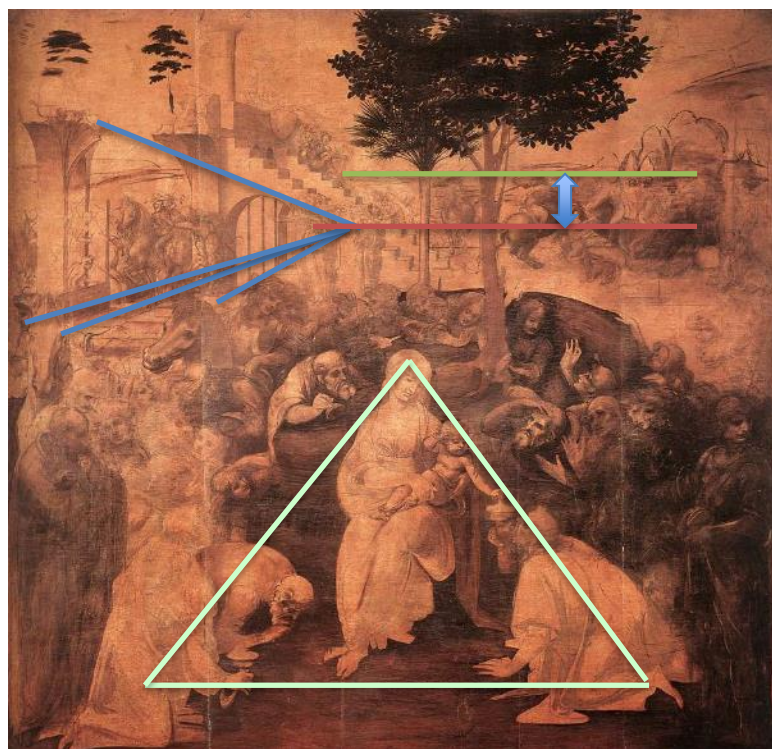
何故完成されなかったのか、従来の説では資金不足等がその理由とされていたが、別の理由が存在したと推定される。

結論を先に述べるなら、この作品は【構図に失敗した作品】であったのだ。

レオナルドらしく、前景の聖母子と祝福に訪れた人物をうまく安定感ある構図にまとめようと努力した痕跡がある。

しかし、中景の修道院らしき建物を遠近法で表現しようとした場面はいただけない。

その理由は、遠近法なら描く人の目線の高さに消失点が存在しなくてはならないのに、実際のところレオナルドの下絵では消失点が描かれた画面上の消失点より下側にそれが存在しているのだ。明らかに遠近法の場面構成上、破綻があるのだ。



図版 1

《マギの礼拝》 1481 レオナルド・ダ・ヴィンチ  
ウフィツィ美術館 フィレンツェ

- \* 確かに前面の聖母とイエスは《三角構図》で安定感があるものの、背景の建物部分は遠近法で描かれながら消失点が水平線上ではなく、描く人の目線の高さである水平線より下にあることで、《遠近法》として破綻しているとともに、前景との連続性も無い、良くない構図の画面なのだ。
- \* (青いライン) は、建物から消失点に結束する線。
- \* (赤のライン) 上に消失点が重なる背景の水平線がこななければならない。
- \* (黄緑のライン) は水平線。描いた人物の目の高さ。
- \* この画面が混沌としている理由は、観る人の視線が一旦は前景の聖母子に導かれるのだが、中景にある建物には視線がスムーズに導かれず、しかも建物の消失点が水平線(描いた人の目の高さ)より下に位置するように描かれている為、その結果、視覚上の混乱に遭遇してしまうのだ。

レオナルドは科学者としての思考回路を持っていた人物だ。当然構図に失敗

した時点でその理由を探っていた筈だ。この科学者としての視点があるならば、問題の解決にこだわっていたと推測できる。彼の好奇心は、芸術や科学の枠組みを超越していた。当然【構図の失敗理由】を考えた筈だ。

歴史の事実として、レオナルドは翌年にはこの作品を見完成のまま放り出して1482年ミラノに向かっている。

ミラノでは自分の工房を持ち、新たな工房に弟子を迎え、仕事を依頼されている。その仕事とは1483年に弟子のデプレディス兄弟と《聖母無原罪御宿り信心会》との間で共同契約した《岩窟の聖母》であった。

しかし、中央パネルを担当したレオナルドの描いた部分は、発注者側の聖母無原罪御宿り信心会から不評であったようだ。

不幸にも、弟子アンブロジーオ兄弟は、この係争に巻き込まれ、自分たちの関わった制作費が未払いのままの状態に置かれたのだった。

しかも、その後の裁判に至迄長期間に渡り描き直しの時間は充分にあったのだが、レオナルド自身は決して描き直さなかった。

私はこの理由について悩み続けたが、2017年に一つの結論に到達した。

レオナルドは、《マギの礼拝》での構図の失敗以来、【理想とする構図への追求をまだ続けていたのではないか】という【仮説】であった。

つまり、新天地ミラノでの継続課題は、【屋外空間における視線誘導】の解決であったと考えられるのだ。

お気づきかと思うが、ロンドン版第一次《岩窟の聖母》は、【屋外空間における視線誘導】の実験絵画であったのだ。

そして、次なる【室内空間に於ける視線誘導】の実験絵画は、かの有名な《遠近法》を用いて【屋内での視線誘導】を編み出した《最後の晚餐》だったのだ。

レオナルドは、視線誘導に関わるこれら二つの実験絵画を通して、フィレンツェ時代から解決されずにいた【視線誘導による完璧な構図構成技術】を完成させたのだ。

つまり、レオナルドにとって《岩窟の聖母・ロンドン版》は、フィレンツェでの失敗以降抱いていた【構図の研究課題】を解決したレオナルドの自信作であったのだ。

つまり、レオナルドが《聖母無原罪御宿り信心会》からの描き直し圧力に対しても、決して同意しなかった理由はそこにあったと判断できるのだ。



《岩窟の聖母》ロンドン版 1483-90

《最後の晩餐》 1495-98

\* レオナルドの描いた二枚の視線誘導実験絵画



参考 検索ワード：《岩窟の聖母》ウィキペディア 2019

：レオナルドの描いた二枚の視線誘導実験絵画 2019